

9月議会 日本共産党の一般質問

グランドゴルフ場を提案

川口町河口堰予定地に防災拠点が実現

平成29年9月定例会日程		
会期：9月7日～9月29日		
開催予定日	時間	会議名
8月25日(金)	10:00	議会運営委員会
9月7日(木)	10:00	本会議(一般質問)
9月8日(金)	10:00	本会議(一般質問)
9月11日(月)	10:00	本会議(一般質問)
9月12日(火)	10:00	本会議(議案上程)
	終了後	予算審査特別委員会
	終了後	決算審査特別委員会
9月13日(水)	10:00	総務文教委員会
	休憩中	総務文教部会
	終了後	総務文教委員会
9月15日(金)	10:00	経済建設委員会
	終了後	経済建設部会
9月20日(水)	10:00	総務文教分科会
9月21日(木)	10:00	福祉健康分科会
9月22日(金)	10:00	経済建設分科会
9月25日(月)	10:00	議会基本条例推進特別委員会
9月27日(水)	10:00	予算審査特別委員会
	終了後	決算審査特別委員会
	終了後	議会運営委員会
9月29日(金)	10:00	本会議(議案採択等)

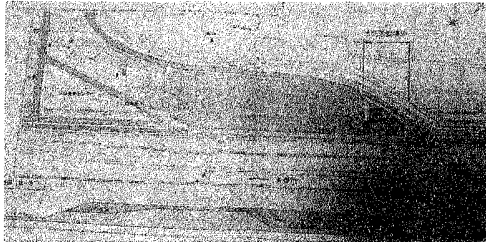
碧南市9月議会が9月7日から始まります。日本共産党は、公約実現のため一般質問を行います。ぜひ議会の傍聴におこしください。

キヤッチ放映9月13日(水)19日(火)22日(金)午後6時からCSデジタル106で放映されます。

磯貝 明彦議員
9月7日(木) 2番目

1. 防災について

(1) 矢作川河口堰跡地について
ア、国の碧南地区防災拠点整備(案)の概要をお聞かせください。
イ、国が使う水防活動場所190㎡設けられているが何をやる場所か。
ウ、造成基盤高+5.3mラインと浸水(想定最大)ラインがあるが、造成高はこの案で大丈夫なのか。何メートルぐらい差があるのか。



エ、2ha分の排水計画はどうするのか。
オ、旧堤防は盛土土庄に耐えうるのか。
カ、地元(川口町・前浜町)の説明会での反応は。
キ、国が使う水防活動場所以外の碧南市の活用について
(ア)平時はグラウンドゴルフ専用として活用してはどうか。
ク、碧南地区防災拠点整備の今後の予定は。

2. 防災行政無線の個別受信機について

ア、碧南市には個別受信機は備えているか。備えているならば何台あるのか。また、どう使っているのか。
イ、個別受信機を市民に貸し出しはしているのか。
ウ、個別受信機の普及モデルができれば碧南市に普及を。
エ、防災行政無線から流れる曲は変更できないのか。

3. 動物愛護について

(1)啓発の強化を

ア、2012年動物愛護法の改正による殺傷・虐待・遺棄は警察の管轄になること。啓発を警察と連携してやるべきではないか。
イ、教育の場においても啓発はしていくべきではないか。
ウ、啓発が地域トラブル減少につながるのではないか。
(2)地域猫対策を進めるためには行政と地域とボランティア団体・個人の連携が必要ではないか。
(3)人と猫が共生できる町づくり条例制定を。

3. 自動車運転免許書自主返納者に対する特典について

(1)電動四輪車・自転車購入時に補助を出したらどうか。
(2)人と猫が共生できる町づくり条例制定を。

山口はるみ議員
9月8日(金) 3番目

1. 子育て支援施策の拡充を

(1)全保育園で長時間、0歳児保育を。
(2)長時間保育料は、標準保育時間11時間以上を対象に。
(3)正規で働く親が預けられる保育園に。
(4)児童扶養手当の、2カ月毎支給について。

2. 子どもの貧困対策について

(1)子どもの貧困対策に関する大綱(平成26年8月29日)に基づく制度の実施について。
ア、学校をプラットフォームとした貧困対策の推進。
イ、スクールソーシャルワーカーの配置。
ウ、学習支援の充実を。県総合教育会議の要望を受けて。
エ、福祉、教育所管の垣根を超えた「碧南市子どもの貧困対策プロジェクト」の設立を。

3. 中小企業・小規模事業者振興条例を

(1)条例制定で、行政・住民・事業者の役割を明確にし、活性化の施策の集約と拡充を。
(2)住宅・店舗のリフォーム、リニューアルの補助制度で、仕事づくり、バリアフリー推進、高齢者などの居場所拡充に役立つ制度に。

《裏面につづく》

《表面からのつづき》

岡本 守正議員

9月8日(金) 5番目

1、パリ協定は2030年までに石炭火力発電をゼロにする、ために、自然エネルギー利活用の拡大で、低炭素社会の取組を

(1)日本はパリ協定で、2030年までに石炭火力発電所をゼロにすることを約束し、第四次環境計画では2050年までに温室効果ガス排出の80%削減を目標にしています。国は武豊町の石炭火力建設を認めていない。碧南市長は5月24日付けで、武豊石炭火力建設に対して「市民の生活環境に十分配慮するとともに、環境保全に万全を期すること」意見書を提出されました。市長のもう少し詳しいお考えを。

(2)国は2030年までに石炭火力をなくすとしている。中電碧南石炭火力発電所は410万KWで年間1千万トン燃焼している。市は中部電力をLNG等の燃料転換の発電所にするるとともに、中部電力内の広い敷地に太陽光発電パネルの設置の要望を。

(3)愛知県では、家庭用太陽熱温水器補助制度が進んでいます。碧南市も太陽熱温水器補助制度の創設を。

(4)生ごみ堆肥化、剪定枝堆肥化、シュレッダーについて。

(5)市内に微粒子物質「PM2.5」測定器設置を。

2、海浜水族館・青少年海の科学館について

(1)リニューアルが始まった水族館・科学館について。全館有料化は何時からか、これによる受付窓口、水族館、科学館の配置はどの様になるのか、また、現在の食堂は

(2)現在の水族館外の風雨除け等の建物について。

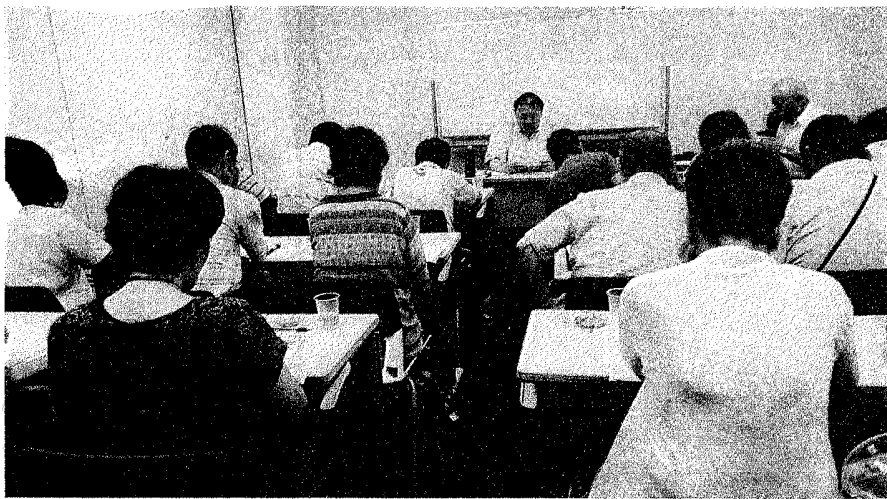
3、碧南市子ども・若者支援について

- (1)生活困窮者自立相談支援について。
- (2)県内の子ども・若者ビジョンの進行状況は。
- (3)安城若者サポートステーションについて。
- (4)碧南市に若者支援室を

子どもの貧困の現状を知る学習会 30名満員の参加者

8月26日に社会福祉協議会内あいくるで行われた「子どもの貧困の現状を知る学習会」には、会場いっぱい30名が参加しました。愛知県担当課長補佐から資料に沿って、国の制度、県下の自治体の学習支援の実施状況、貧困アンケートの結果の報告がされました。

市職員、社会福祉協議会職員、教員OB、年金者、新婦人など多彩な人たちで、半田市で学習支援を7年間行っている財団の代表、県の担当者の方も遠方から出席していただきました。主催した「子どもの貧困を考える会」は、「今後も学習会や現地視察を計画し、碧南市でも子ども食堂や、学習支援が実現できるようにしたい」と語っています。



県内子ども食堂数
38ヶ所

※中京大学成元哲(そんうおんちよる)研究室が調査などにより情報を把握し、「あいち子ども食堂ネットワーク」のホームページに掲載の承諾を得た子ども食堂のみの数です。



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円



日本共産党碧南市会議員団
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718

楽しかった へきなん9条平和まつり

8月27日、大浜下区コミュニティセンターで行われた、へきなん9条平和まつりが行われました。満蒙開拓の話の朗読、高浜うたう会の歌声喫茶、抹茶の接待もありました。

隣接の会場には、写真、絵画、手芸の作品展も行われ約60名が楽しみました。安倍内閣が秋の国会に自民党の憲法改悪案を出そうとしている中、憲法を守る運動を大きく広げていかねばなりません。

沖縄のこと、平和のこと、
いとおいしい人のこと、ふるさとのこと・・・歌うことができるのは平和だからこそです。

みんなが、つどい話せるのは平和な日本で、自由や民主主義、人権尊重を掲げる「日本国憲法」があるからです。みんなでこの思いを確認しました。次回は、9月30日に半田市の戦跡ツアーです。

